関口台町小学校 6年 理科 「てこ」

授業のねらい

○仮説を確かめるための実験を行い、気付いたことを共有し、てこの規則性を確かめる。

タブレット端末活用の工夫/教育データ活用の工夫

- ○オクリンクを活用し、教師側から児童へカードを送り、班ごとに実験結果を カードに記入して提出ボックスに送る。
- ○児童の半数程度が提出したのを確認し、提出ボックスを開放する。これにより、 課題が終わった児童も他の班の実験結果を共有する時間も確保できる。
- ○電子黒板を活用して全体共有を行い、班ごとに発表する。



- ○他の班の実験結果をオクリンクで確認できたことで、よりよい考察を書いている 様子が見られた。
- ○実験結果から分かったことについての発言が多く出てきた。

成果

- ○実験結果を短時間で共有することができ、児童の考察が深まった。
- ○教師が実験結果を確認する際に一つのページで確認することができた。

課題

- ○未提出の児童や、適切でない実験結果が他の児童にも見られてしまうことを考慮する必要がある。
- ○タブレット端末上でグラフ化することに時間がかかる児童がいたため、操作に慣れる必要がある。



